

厚膜2液型エポキシ樹脂塗料

ボウジンテックス

#8000 ECO

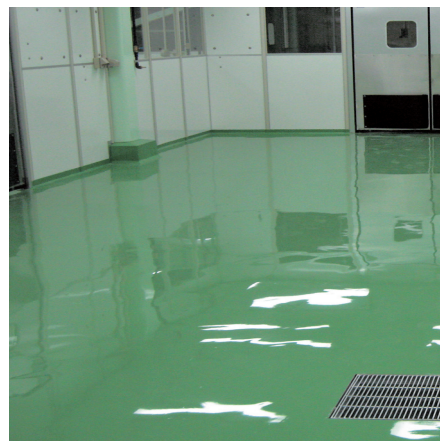
BOUJINTEX #8000 ECO



JIS K 5970 建物用床塗料 上塗り  
 認証番号 JP0508057  
 ホルムアルデヒド放散等級  
 F☆☆☆☆  
 鉛・クロムフリー

## 優れたレベリング性、耐久性、耐薬品性

厚生労働省指定の**室内空気汚染13物質(トルエン、キシレンなど)**は無配合です。ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆でシックハウス対策も万全。塗膜性能はボウジンテックス #8000と同様、強靱で平滑な塗膜が得られます。エポキシ樹脂の優れた耐摩耗性、耐衝撃性、耐水性、耐薬品性、耐油性を発揮します。過酷な場所での使用にも充分耐える塗り床材です。



### 特長・用途

#### 特長

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒドの発散は少ない  
 建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている

- 1 厚生労働省指定の室内空気汚染13物質無配合
- 2 厚膜タイプの高級仕上げ
- 3 強靱で光沢のある美しい床面が得られる
- 4 耐衝撃性や耐摩耗性がよく耐久性に優れている
- 5 特に耐水性、耐薬品性、耐油性に優れている
- 6 用途、目的により多様な仕様が可能(抗菌仕様も可能)

#### 用途

- 1 学校給食室等の室内空気汚染物質対策が求められる床
- 2 強靱で耐久性、耐摩耗性を必要とする工場や倉庫
- 3 強靱で耐久性、耐摩耗性を必要とする車両通行通路
- 4 食品や薬品を取り扱う工場や研究所
- 5 油をよく使う機械工場や自動車修理工場
- 6 食品工場や病室、診察室など抗菌効果が必要な床(抗菌仕様)



運搬車両使用工場



化学薬品工場・印刷工場



食品工場



自動車修理工場



厨房・給食室



機械工場



屋内パーキング

### 性能

試験項目	試験方法	結果
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる ガラス板に塗付1000μm,60度	90以上
引っかかり硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる すり傷	2H
耐摩耗性 (mg)(摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる 摩耗輪CS-17荷重500g×2,1000回転	55±5
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる 水道水に7日間浸せき	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる 水酸化カルシウム飽和水溶液に48時間浸せき	異常なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる 硫酸5%水溶液に48時間浸せき	異常なし
耐温水性	JIS K 5600-6-1に準ずる 50℃温水に48時間浸せき	異常なし
ホルムアルデヒド 放散等級	JIS K 5970 デシケータ法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆

#### 耐薬品性 試験方法：JIS A 5705 ビニル系床材の汚染性試験に準じ48時間スポット試験

薬品の種類	薬品の名称	結果	薬品の種類	薬品の名称	結果	
アルカリ類	水酸化ナトリウム 5%	◎	消毒剤	逆性石鹼 5%	◎	
	水酸化カルシウム	◎		クレゾール石鹼 5%	◎	
	アンモニア水 5%	◎		マーキュロクロム	◎	
塩類	炭酸バリウム	◎		消毒用アルコール	◎	
	重炭酸ナトリウム	◎		次亜塩素酸ナトリウム 1%	△	
	炭酸ナトリウム	◎		ヨードホルム	◎	
	塩化カルシウム	◎		過酸化水素水 10%	◎	
	硫酸カルシウム	◎		フェノール 5%	△	
	過マンガン酸カリウム 5%	◎		ホルマリン	◎	
溶剤	トルエン	◎		無機酸	硫酸 5%	◎
	アセトン	△	硝酸 5%		◎	
	キシレン	◎	塩酸 5%		◎	
	メタノール	△	クロム酸 10%		◎	
	エタノール	◎	燐酸 5%		◎	
生活材	ベンゼン	◎	有機酸		蟻酸 5%	△
	動植物油	◎			酢酸 10%	◎
	ガソリン	◎			酢酸 5%	◎
	マシン油	◎			乳酸 5%	◎
	食塩水	◎			酪酸 5%	△
	醤油	◎		酒石酸 10%	◎	
	酒類	◎		ステアリン酸	◎	
	洗剤類	◎		オレイン酸	◎	

◎：異常なし ○：適正あり △：すぐに処理すれば可  
 注意：溶剤等揮発性の高い薬品は試験時間内に蒸発しているため、48時間スポット試験になっておらず、揮発するまでの評価とした。高濃度の欄で評価がないものについては、使用不可とする。薬品の使用状態によっては表中と異なった結果となる場合がありますのでご注意ください。

流し延べ工法・平滑仕上げ（膜厚1mm）

工程	使用塗料	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含まれる下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。								
下塗り	エポキシプライマーECO-N 主剤 10.5kg 硬化剤 3.5kg フィラー2.5kg	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
ベースコート 下塗り	ボウジンテックス #8000ECO 主剤 12.5kg 硬化剤 2.5kg	金ゴテ レーキ	1	0.4	37.5	20分以内	—	16h以上 48h以内	—
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000ECO 主剤 12.5kg 硬化剤 2.5kg	金ゴテ レーキ	1	1.0	15	20分以内	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

※下地の吸い込みがばげしい場合は、フィラーなしのエポキシプライマーECO-Nを再度塗装してください。（工程塗装間隔1時間以上）

ペースト工法・平滑仕上げ（膜厚2mm）

工程	使用塗料	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含まれる下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。								
下塗り	エポキシプライマーECO-N 主剤 10.5kg 硬化剤 3.5kg フィラー2.5kg	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
ベースコート 下塗り	ボウジンテックス #8000ECO 主剤 12.5kg 硬化剤 2.5kg 珪砂10kg	金ゴテ レーキ	1	2.2 (珪砂含む)	11.4	20分以内	—	16h以上 48h以内	—
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000ECO 主剤 12.5kg 硬化剤 2.5kg	金ゴテ レーキ	1	1.0	15	20分以内	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

※下地の吸い込みがばげしい場合は、フィラーなしのエポキシプライマーECO-Nを再度塗装してください。（工程塗装間隔1時間以上）

樹脂モルタル工法・平滑仕上げ（膜厚5mm）

工程	使用塗料	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ（モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上）、表面層の水分率5%以下（デジタル水分計）とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ず、ポリッシャーまたはライナックス等で下塗りが含まれる下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。								
下塗り	エポキシプライマーECO-N 主剤 10.5kg 硬化剤 3.5kg フィラー2.5kg	ハケ ローラー	1	0.16~0.20 (フィラー含む)	83~103	1h以内	—	4h以上 48h以内	—
タックコート	ボウジンテックス #8000ECO 主剤 12.5kg 硬化剤 2.5kg	金ゴテ レーキ	1	0.3	50	20分以内	—	30分以内	—
ベースコート モルタル材	ボウジンテックス #8000ECO 主剤 12.5kg 硬化剤 2.5kg 珪砂 90kg	金ゴテ	1	8.0 (珪砂含む)	13	20分以内	—	14h以上 48h以内	—
目止め	ボウジンテックス #8000ECO 主剤 12.5kg 硬化剤 2.5kg 増粘0.9kg~	金ゴテ	1	0.5 (増粘剤含む)	32	20分以内	—	12h以上 48h以内	—
ベースコート 上塗り	ボウジンテックス #8000ECO 主剤 12.5kg 硬化剤 2.5kg	金ゴテ	1	1.0	15	20分以内	—	—	16h以上 完全硬化2日以上

※下地の吸い込みがばげしい場合は、フィラーなしのエポキシプライマーECO-Nを再度塗装してください。（工程塗装間隔1時間以上）

荷姿

上塗り材

ボウジンテックス #8000ECO..... 15kgセット  
(主剤 12.5kg 硬化剤 2.5kg)  
ボウジンテックス #8000ECO抗菌..... 15kgセット  
(主剤 12.5kg 硬化剤 2.5kg)

下塗り材

エポキシプライマーECO-N..... 14kgセット  
(主剤 10.5kg 硬化剤 3.5kg)

希釈剤

ボウジンテックス #8000ECO専用希釈剤..... 16L・4L  
ボウジンテックス #8000ECOシンナー..... 16L・4L

副資材

ボウジンテックス フィラー..... 5kg

注意事項

- 気温5℃以下、相対湿度80%以上のときは、硬化不良を起こすことがありますので施工を避けてください。
- 低温時に施工した塗膜は水と接触すると表層白化する場合があります。施工後の清掃において水拭きした場合、塗膜表面が白化しますので乾拭きにて清掃してください。
- 下塗り塗装の際、吸い込みの激しい場合は2回塗りしてください。
- 主剤と硬化剤をハンドミキサーで泡を巻き込まないように充分攪拌してください。
- 攪拌後は、速やかに被塗面に流してください。（可使用時間内にご使用ください。）
- クラック・フクレ等の処理は、増粘剤調整塗料にて行ってください。
- 粘度調整で希釈を行う場合は、必ず専用の希釈剤をご使用ください。粘度調整での希釈は、塗料に対して約1%から3%までの添加にしてください。  
ECOシリーズの専用希釈剤は室内空気汚染13物質を含んでおりませんので必ず専用の希釈剤をご使用ください。  
またECOシリーズの洗浄用シンナーも室内空気汚染13物質を含んでおりませんので専用のシンナーをご使用ください。
- ペースト工法でベースコート下塗りに使用する珪砂は、6~7号をご使用ください。
- 樹脂モルタル工法でタックコートを塗付後30分以上おくとモルタル材が附着しなくなりますので素早く施工してください。
- 樹脂モルタル工法でベースコートモルタル材に使用する珪砂の組み合わせは、4号~6号珪砂の組み合わせで可能です。（4号+5号、5号+6号を推奨します。）
- 樹脂モルタル工法は、4mm以上で行います。
- 防汚仕上げの場合は、ボウジンテックス #8000カタログの仕様をご参照ください。
- 静電気をさう床には施工しないでください。
- 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
- 化学物質過敏症の方は、塗料に含有している化学物質（VOC等）に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。
- 施工時および施工終了後において、充分な換気を行ってください。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151  
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・仙台・札幌  
カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。